

受験番号	
------	--

令和3年度一般選抜A日程

小論文課題

[設問]

次の文章を読んで、下線部を踏まえて「他者との交流」について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

犬と暮らす生活で学ぶことは数多くあり、言葉が通じないのに伝えようとする彼らの工夫の数々や、じれったさをこらえて長い時間を待つ辛抱強さは、称賛に値する。人間はそれほどの努力を、さまざまな相手、場面で行っているだろうか。同じ地球の中に生きているにもかかわらず、ほんの少しの差を我慢できずに争ったり嘲笑したり。愚かしいことこの上ない。人には知恵があると言うが、その本質を、もう一度原初に返って問い直すべきだ。

地球をノアの箱舟になぞらえ、ともに生き延びることをうたう話は良く聞くようになったが、本当に「多様性」を必要とするのならば、「違いを認める」ことよりも、「違いを忘れる」(違いを感じない) ことのほうが大事なはず。本当に猛獣と同じ舟に乗り、ともに生きることは、寓話の世界のように簡単ではない。無意識の中の偏見、例えば「犬は畜生である」を、どこまで忘れ去ることができるかが問われている。

【竹宮恵子「犬と暮らして」(2016年8月3日京都新聞より抜粋)】